

## II 屋外広告業

### 1 屋外広告業について

屋外広告業は、主として、広告板、立看板、広告塔、広告幕、ネオンサインなどを主な対象としていますが、現在は、その範疇を超えて、ポスターボード、屋外ビジョン、デジタルサイン、ラッピングバスなど屋外広告で用いられる広告媒体は多様化しています。このため、本評価基準で策定する屋外広告業の範囲は、屋外広告物法で定められている建設物等の外側において掲出されるものだけではなく、業界の実態に即して、建築物の内部に掲出されるサイン類のデザイン、製作・施工も対象として、とりまとめました。

また、屋外広告物に対するニーズの多様化、従業員の高齢化に伴い後継人材の不足の問題等があり、今後、人材力を底上げし、業界全体の活性化を図り、高度な技能・技術の継承を行うためには、業界が真に求める能力要件を明確化し、優れた人材の採用や育成に取り組んでいく必要があるため、職業能力評価基準を策定しました。

### 2 職業能力評価基準の策定について

#### (1) 検討体制

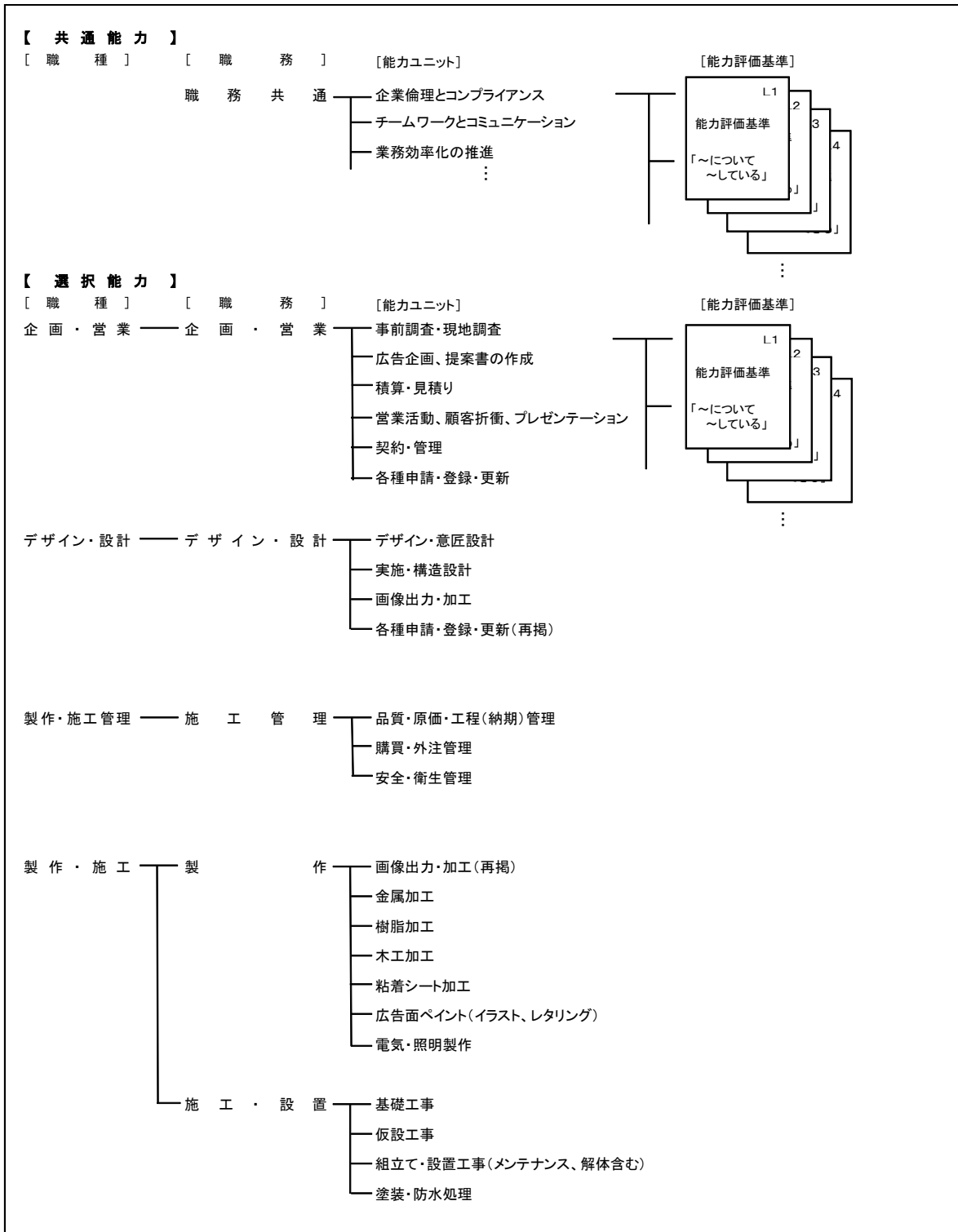
屋外広告業の職業能力評価基準策定に当たっては、中央職業能力開発協会において、一般社団法人日本屋外広告業団体連合会（会長 高橋 公比古）との連携のもと、包括的職業能力評価制度整備委員会（座長 武山 良三：富山大学芸術文化学部教授）を設置し、検討を行いました。

#### (2) 策定した職種・職務

屋外広告業における主要な職種として、以下の4職種（5職務）を対象としました（図1参照）。

- 1) 屋外広告の企画提案を取りまとめ、顧客への提案・折衝等の営業活動を推進する「企画・営業」（職務：「企画・営業」）
- 2) 広告コンセプトを踏まえた屋外広告のデザイン作成を行い、これに基づき広告物やその施工に向けた設計を行う「デザイン・設計」（職務：「デザイン・設計」）
- 3) 品質・原価・工程（納期）管理や安全・衛生に配慮しながら、製作・施工現場作業を統括する「製作・施工管理」（職務：「施工管理」）
- 4) 設計図面に基づき、様々な屋外広告物の製作行っただうえで、製作した屋外広告物の施工・取付け・設置・メンテナンス・解体等を行う「製作・施工」（職務：「製作」、「施工・設置」）

図1 屋外広告業の職業能力評価基準の全体構成



### 3 レベルの設定

職業能力評価基準は、担当者に必要とされる能力水準（レベル1）から組織・部門の責任者に必要とされる能力水準（レベル4）まで4つのレベルを設定しています。

職業能力評価基準全体に共通するレベル区分の考え方に沿いながら、より具体的にイメージできるよう、屋外広告業におけるレベル区分の目安を設定しました（図2参照）。

図2 屋外広告業のレベル区分の目安

レベル	レベル区分の目安	イメージ
レベル4	●熟達した知識・技能を有し、会社の利益拡大や競争力強化に貢献できる能力水準	■統括責任者 ■工場長 ■ディレクター ■エキスパート ■スペシャリスト など
レベル3	●高度な知識・技能を有し、主体的な判断・工夫を行いながら業務を取りまとめるとともに、部下への業務指導ができる能力水準	■職長 ■リーダー ■主任 ■ベテラン など
レベル2	●幅広い知識・技能を身につけ、担当業務全体を独力で遂行できる能力水準	■上級担当者 (経験レベル)
レベル1	●基本的な知識・技能を身につけ、定型的な日常業務を遂行できる能力水準	■担当者 (基本レベル)

#### 4 屋外広告業の職業能力評価基準の例

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	共通
ユニット番号 48S024L33				
選択 能力ユニット	能力ユニット名	デザイン・意匠設計		
	概要	広告のコンセプト、用途、機能等を踏まえ、広告のデザインを作成する能力		
能力細目	職務遂行のための基準			
①デザイン準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に顧客と十分に意思疎通を図り、顧客ニーズに即して的確な広告コンセプトを構築している。</li> <li>○ CADやデザイン用ソフトウェアの活用技能を完全に習得している。</li> <li>○ 意匠権について理解し、問題が発生することがないように配慮するとともに、部下にも指示・徹底している。</li> </ul>			
②デザインの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過去の事例を調べたり詳細な現地調査を実施するなど、デザインに必要な情報収集を効果的・効率的に行っている。</li> <li>○ 顧客ニーズや広告コンセプトを踏まえ、最大限の広告・宣伝効果を引き出すためのレイアウトや配色等を検討している。</li> <li>○ 顧客ニーズと周囲の環境との両立を十分に意識しながらデザインを進めている。</li> <li>○ CADやデザイン用ソフトウェアを使いこなし、迅速にデザインを進めている。</li> <li>○ 製作コストの概算を把握し、コストに配慮したデザインを行っている。</li> <li>○ 急な仕様変更や方針変更等の突発事態に際しても、柔軟に対応してデザインの修正を行っている。</li> <li>○ デッサンやレタリングなど、必要な場合には手作業によるデザインを的確に行っている。</li> <li>○ 顧客に効果的にアピールできるよう工夫しながら、作成したデザインを提案書にまとめている。</li> </ul>			
③デザインの検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作成したデザインが顧客ニーズに沿っているか、景観に適合しているか、他の意匠権等の侵害になっていないかなど、検証を行っている。</li> <li>○ 作成したデザインを顧客に対して分かりやすくプレゼンテーションしている。</li> <li>○ 顧客の指摘を踏まえ、デザインの修正等に反映させている。</li> </ul>			

企画・営業

デザイン・設計

製作・施工管理

製作・施工

#### ●必要な知識

<p>1. デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションとデザイン</li> <li>・デザインの基礎</li> <li>－形態の要素及び知覚</li> <li>－視覚の法則</li> <li>－構成の要素</li> <li>－図の構成</li> <li>－立体の構成</li> <li>・色彩</li> <li>－色彩の基礎</li> <li>－色の表示方法</li> <li>－色の機能</li> <li>－色の効果</li> <li>－混色</li> <li>－配色と調和</li> <li>－色の社会性</li> <li>・広告デザイン</li> <li>－文字</li> <li>－レタリングの技法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－標識及びシンボルマークの機能</li> <li>－ロゴタイプの機能及び方法</li> <li>－イラストレーションの機能及び方法</li> <li>－レイアウトの機能及び方法</li> <li>－訴求</li> <li>－コンピュータ関連用語</li> <li>・広告景観に関する基礎</li> <li>2. ITツールの操作法</li> <li>・デジタルカメラ</li> <li>・デザイン用ソフトウェア(イラストレーター、フォトショップ等)</li> <li>3. 施工法一般</li> <li>4. 材料</li> <li>5. 関係法令</li> <li>・景観・まちづくり関係(屋外広告物法・条例、景観法など)</li> <li>・建築・土木関係(都市計画法、建築基準法、道路法、建築リサイクル法、建設業法、国土交通省建築工事標準仕様書など)</li> <li>・知的財産権関係(著作権法、不正競争防止法、意匠法など)</li> <li>6. 安全衛生</li> </ul>
---	---